

長野県県民文化会館 開館 35 周年・ウィーン楽友協会姉妹提携 35 周年記念事業



ウィーン室内楽アンサンブル 演奏会



2018.9.12 (水) 開演 19:00 (開場 18:30)

会場：飯山市文化交流館 なちゅら 大ホール

ウィーン室内楽アンサンブル

ビルギット・コーラ Birgit Kolar (ヴァイオリン)

ローマン・ベルンハルト Roman Bernhart (ヴィオラ)

アンドレアス・シャープラス Andreas Schablas (クラリネット)

アッティラ・セケリイ Attila Szekely (チェロ)

ヘルムート・ラッキンガー Helmut Lackinger (ヴァイオリン)

プログラム モーツァルト クラリネット五重奏 KV581 ほか

入場料：1,000 円 【全席自由】

【プレイガイド】 飯山市文化交流館 なちゅら TEL 0269-67-0311

ホクト文化ホール TEL 026-226-0008

※やむを得ぬ事情により、公演内容に変更が生じる場合がございますが、出演者、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんので予めご了承願います。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

長野県県民文化会館 ウィーン楽友協会 姉妹提携事業

長野県県民文化会館では、昭和 57 年 11 月、ウィーン楽友協会と姉妹提携を結んだことから、ウィーンで活躍する音楽家を招き、各種演奏会、音楽セミナーなどを毎年開催しています。

主催：一般財団法人長野県文化振興事業団 共催：飯山市、飯山市教育委員会、長野県、長野県教育委員会
後援：オーストリア大使館、公益財団法人八十二文化財団

【ご予約・お問い合わせ】ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）TEL 026-226-0008

ウィーン室内楽アンサンブル

ウィーン楽友協会と長野県県民文化会館姉妹提携事業の招聘音楽家により、特別に編成されたアンサンブル。



ビルギット・コーラ Birgit Kolar (ヴァイオリン)

オーストリアのヴァイトホーフェン/イブス出身。ウィーン国立音楽大学にてライナー・キュッヒル、イェラ・シュピトコーヴァの両氏に師事。1991年メニューイン国際コンクール入賞。ソリストおよび室内楽奏者として、ヨーロッパ各国、南米、日本などで演奏活動を行う。1999年から2008年、バイエルン放送交響楽団のメンバーと共にミュンヘン弦楽四重奏団を設立。第1ヴァイオリン奏者を務める。2008年にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とウィーン交響楽団のメンバーで構成されたウィーン・セラフィン・クアルテットを設立。これまでにブルックナー管弦楽団、ウィーン交響楽団、バイエルン放送交響楽団のコンサートミストレスを歴任。バイエルン州立歌劇場管弦楽団(ミュンヘン・オペラ座)、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、コペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、リセオ劇場管弦楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、カメラータ・ザルツブルクなどではゲスト・コンサートミストレスを務める。また、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団からも定期的にエキストラとして招待されている。2003年から2009年、ウィーン国立音楽大学コンサート専科にて非常勤講師を務め、2011年からはグラーツ芸術大学の客員教授として教育にも携わる。現在の使用楽器は、オーストリア・ナショナル銀行所蔵のクレモナ製カルロ・ベルゴンツィ(1723年製)。



ヘルムート・ラッキングー Helmut Lackinger (ヴァイオリン)

1961年ウィーンに生まれる。10歳よりヴァイオリンを学ぶ。ウィーン市立音楽院にてフロリアン・ツヴァイアウアー教授(ウィーン交響楽団コンサートマスター)、アルフレッド・シュタール教授(ウィーン・フィル)に師事する。1988年からウィーン交響楽団の団員として活躍中。また、ウィーン・コンチェルトフェライン室内管弦楽団やウィーン・ブラームス四重奏団、ウィーン・シンフォニア・シュランメルなどの室内楽分野で活躍しており、国内外のコンサートツアーで大きな成功をおさめている。



ローマン・ベルンハルト Roman Bernhart (ヴィオラ)

オイラーツフェルト(オーストリアのニーダーエースターライヒ州)生まれ。リンツ音楽高等学校で学び、ブルックナー音楽私立大学でヴァイオリンとヴィオラをフランツ・ヴァルに師事する。その後ウィーン国立音楽大学でジークフリート・フェールリンガーの下で研鑽を積む。オーバーエースターライヒ州でフランツ・ヴェルザー＝メストが率いる「アンサンブル・アクチュエル」に参加し、ヴェルス音楽学校で教えた。1992年に「Eos 四重奏団」の創立メンバーとなり、それ以来オーストリアや国外で大きな成功をおさめている。1993年にはウィーン交響楽団に入団し、1994年より同オーケストラのソロ・ヴィオラ奏者である。



アッティラ・セケリィ Attila Szekely (チェロ)

ルーマニアのクラウゼンブルク出身。ブカレスト音楽大学にてアウレル・ニコレスコ教授に師事。在学中の1980年、パブロ・カザルス・コンクールにて特別賞を受賞し、ドヴォルザーク、サン＝サーンス、ハイドンの協奏曲を受賞演奏会で演奏したほか、ブラームスのソナタとサン＝サーンスの協奏曲による記念LPを録音。ウィーン国立音楽大学にてアンドレ・ナヴァラに師事。1991年よりウィーン交響楽団首席奏者となる。



アンドレアス・シャープラス Andreas Schablas (クラリネット)

オーストリアのミュルツツシューラク出身。ヨハネス・ブラームス音楽学校卒業後、グラーツ音楽大学でクルト・ダークホーファー、ウィーン音楽大学でクルト・ダークホーファー、ペーター・シュミードル、特にヨハン・ヒンドラーに師事。スタンダードのレパートリー以外に20世紀と21世紀の作品も得意とする。特にジャン・フランセのクラリネット協奏曲のオーストリア初演、フリードリヒ・チェルハのクラリネット協奏曲の世界初演を行った。オーストリア・ノイエ・ムジーク・アンサンブル(OENM)の長年のメンバーでもあり、クラリネットとバスクラリネットのソロの数多くの現代曲にも取り組んでいる。また、様々なアンサンブルと室内楽でも活躍している。2008年までザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団に所属し、その後バイエルン国立歌劇場管弦楽団に移り2010年よりソロ・クラリネット奏者となる。2017年10月にザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学の教授となり、ザルツブルクの国際サマーアカデミーとハウス・モルトーでもマスタークラスで教鞭をとっている。

善光寺御奉納演奏会

2018年9月13日(木) 開演 19:00 (開場 18:30)

善光寺本堂(内陣) 入場無料(要整理券)

【全席自由】定員 300人

出演:ウィーン室内楽アンサンブル

《入場整理券 申し込み方法》

- 往復はがきでお申し込みください。
※返信用のはがきが入場整理券になります。
- 記載内容:公演名「善光寺御奉納演奏会」、住所、氏名、電話番号、希望人数 ※1枚のはがきで2名様まで入場いただけます。
- あて先:〒380-0928 長野市若里1-1-3 ホクト文化ホール「善光寺演奏会」係
- 締め切り:8月24日(金)必着
※応募者多数の場合は抽選となります。ご了承ください。

長野フィルハーモニー管弦楽団演奏会

2018年9月16日(日)

開演 14:00 (開場 13:30)

ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)大ホール

一般 1,500円 高校生以下 500円(全席自由)

指揮:ゲオルク・マルク

クラリネット:アンドレアス・シャープラス

客演:ウィーン室内楽アンサンブル

管弦楽:長野フィルハーモニー管弦楽団

特別出演:長野県高等学校選抜オーケストラ

プログラム:グノー/バレエ音楽「ファウスト」より

(演奏:長野県高等学校選抜オーケストラ)

モーツァルト/クラリネット協奏曲イ長調 KV622

ベートーヴェン/交響曲第5番「運命」Op.67